

すくらおろち通信

島根県雲南市と雲出雲町にまたがる、尾原ダム・すくらおろち湖周辺の自然とそこに暮らす人の営みを元気なものにしていくNPOの情報発信誌です。

第47号

発行所▽NPO法人すくらおろち
〒六九九-1334
雲南市木次町平田七七九-1
☎〇八五四・四八・〇七二九

都市から山村へのメッセージ

春。山茶や筍が市にならびはじめる季節になりました。そして今春、山陰と山陽を結ぶ尾道松江線(中国やまなみ街道)が全線開通しました。山陽からと、雲南へ出るにまたがるこの地へ足を運ばれる人が新たにいらっ

しやることでしょうか。

NPOの法人すくらおろちは、都市農村交流に取り組んでいますが、今号では、最近の交流参加者の感想を少しばかり紹介してみようと企画しています。

とんどさんにて

尾原農村公園で1月11日に開催された「とんどさん」と

山海の幸のおもてなしを、すくらおろちの食べこと塾で

「とんどさんは何十年ぶりの体験でした。とてもなつかしかったです。火がこれから一年を清め、竹のはじける音が元気を与えてくれたように感じました。ありがたうございました。」

ご感想をいただきました。松江市(仮女性)「なつかしいといふ人はじめてでも、またたかさを感じてとてもよかったです。失礼なことを、うとするものを、守っていくことの大切さを感じますね。」



9月下旬、すくらおろち湖でのシーカヤック体験。

里山ホランテア

すくらおろち湖自転車競技施設のたまり場

行った9月20日の里山ホランテア。竹やぶを退治して竹と仲よくなる『竹』の感想から――。

「取初はいやいやだったけど、やってみたらどの作業も楽しくてよかった。」「(松江市・10代男性)「まじいちゃんに連れられてお父さんの正直な感想に納得です。」「(松江市・10代女性)「やってみると、運んでくる力強さが必要だと感じました。」

先相から受け継いだ資源を

目取後に、1月25日に松江市市民活動支援センターで開催した「竹に驚く日」の感想から――。

「日本人は自然の恵みを及ぼす手に加えて、生活に活かす文化を大切に受け継いできたのだと感じ

ました。ご存じのように地方の里山は老木放題と化しました。高齢化が進行し打ちをかり、竹やぶは陽がささない足を踏み入ることにさえ困難になっています。(中略)――

私は定年退職を機にリターンして両親の介護生活を始めました。山の境界もありません。山には先祖から受け継いだ資源が眠っています。が、有効に利用することを知りません。今日の映画

(夕ヶヤネの里)を観て、足元にある資源を有効に利用するためにどうしたらいいのか、又、どう準備しているのか、今年から考えながら学びながら行動に移していきたく感じました。」(松江市・的職男性)

元気な竹やぶの言葉です。都市にいても農村にいても同じ山河の恵みを共有しています。立ち寄り役をそとせよななな。

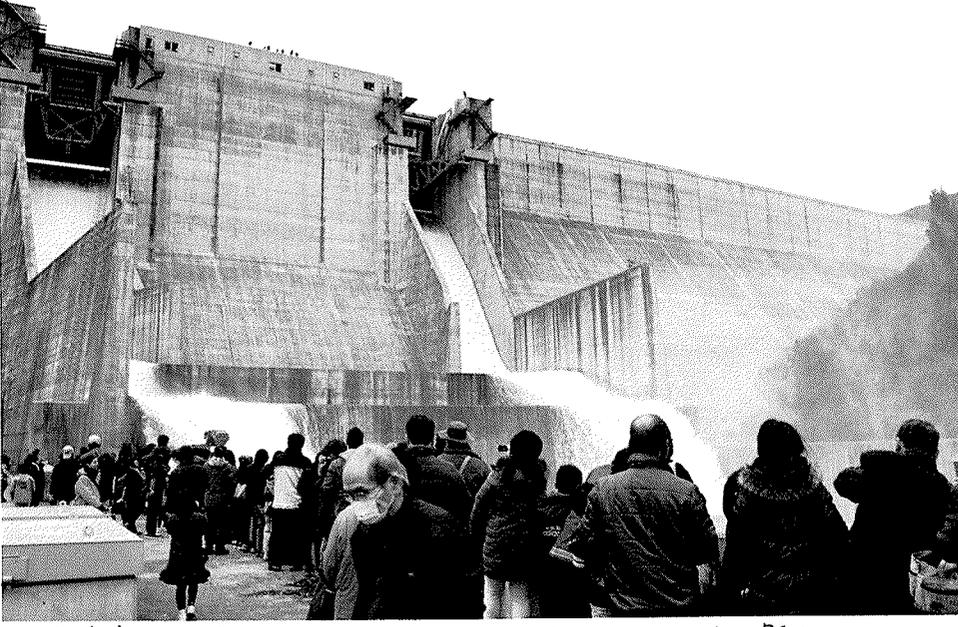
すくらおろち湖、NPO法人すくらおろち湖は、自然と共生する環境を、二重の意味でつくりだすべく、活動しています。



てまごこと

尾原ダムの豪快な放水に たくさんの人出

「出」一耳に一度行
ゆゆる尾原ダ
ム非常用水門の動作百様
正式名称は「クレストゲ



▲ 放水の水しぶきを尻尻りきど味ゆえるまたとないフェイスにカメラも殺到。



▲ 珍しいくらい久しぶりに青空がひらけたさくらあさひ湖の春!!

4時間以内の落差で、落差約60メートルの巨力ある人工の滝が出現しました。ダムの直下の広場ではデントが設置され、地元特産品や猪汁も販売され、大好評でした。

**晴天に恵まれ
たさくら湖の御
ウオーキング大会**
3/15(日) 地域自主組織
主催で行われたウオーキン
グ大会。春の訪れを感じ

サせるまのまのものと、ボート競技施設を併設してさくらあさひ湖をよめるコースを湖東地区の地元の方々が築きあげました。

**4月のまよ
行事予定**

3/22(日) 中国
ボート選手権 島根県ボ
ート連盟 於ボート競技コース
予選

3/29(日) 島根県 自衛隊
敵対選手権大会
島根県 自衛隊 競技連
盟主催・自衛隊競技コース

4/5(日) 第3回さくらあ
さひ湖ウオーキ
ング大会
ボート競技施設前スタ
ートゴール

4/26(日) 第3回さくらあ
さひ湖トレイルラン……
……ボート競技施設前
スタート&ゴール

★ 会員募集

私たち「NPO法人さくらあさひ湖」は、尾原ダム周辺の自然や文化、新たにできた施設など地域資源を活かし、様々なイベントや活動に取り組んでいます。また、地域の方々とともに斐伊川水系の上流域を拠点とする団体として、流域圏における交流と絆づくりを進めているところです。当法人の活動にご賛同いただき活動を支援していただける会員を募集しています。

正会員▽当法人の総会において議決権を持ちます/入会金1000円・年会費2000円。

賛助会員▽活動を財政面から支えてくださる会員です/入会金1000円・年会費1000円。

▼ご入会のお手続きについてはNPO法人さくらあさひ湖事務局までお問い合わせください▼

〒699-11342 雲南市木次町平田779-11 ☎0855-4-48-0729

▼E-mail sakura-o@bs.kkm.ne.jp



★今回の号はパソコンが壊れてしまったため、手書き文字でお送りすることになりました。直身に頼りすぎると字が汚くなることの見本として二文字書下さい。